

# 水稲早生品種「つや姫」の特性

表. 「つや姫」の特性概要

| 品種名       |                     | つや姫  | コシヒカリ |
|-----------|---------------------|------|-------|
| 形質        |                     |      |       |
| 出穂期       | (月. 日)              | 8.01 | 8.02  |
| 成熟期       | (月. 日)              | 9.10 | 9.10  |
| 稈長        | (cm)                | 76   | 95    |
| 穂長        | (cm)                | 17.7 | 19.1  |
| 穂数        | (本/m <sup>2</sup> ) | 467  | 457   |
| 全重        | (kg/a)              | 158  | 156   |
| 精玄米重      | (kg/a)              | 65.1 | 57.5  |
| 同上比率      | (%)                 | 113  | 100   |
| 玄米千粒重     | (g)                 | 23.4 | 23.5  |
| 検査等級      | (1~9)               | 5.1  | 6.5   |
| 外観品質      | (1~9)               | 5.4  | 6.7   |
| 倒伏程度      | (0~5)               | 0.1  | 2.7   |
| 葉いもちほ場抵抗性 |                     | *    | やや弱   |
| 白葉枯病ほ場抵抗性 |                     | 中    | やや強   |
| 穂発芽性      |                     | やや難  | 難     |

注1)調査場所:鳥取農試、調査年次:2008~2011年  
 移植期は5月15日で施肥は以下のとおり  
 標肥: Nkg/10aで4-2-2(基肥-穂肥I-穂肥II)  
 注2)精玄米重、千粒重、等級:1.85mm上  
 注3)等級:1(1等上)~9(3等下)、外観品質:1(上上)~9(下下)  
 注4)倒伏程度:0(無)-5(甚)  
 注5)葉いもちほ場抵抗性判定の\*はks、a、i以外の遺伝子を持っているため判定不能であることを示す



「つや姫」 「コシヒカリ」

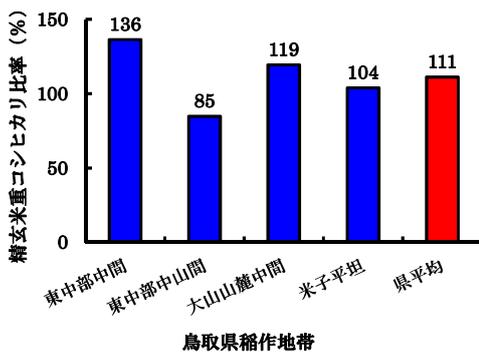
## コシヒカリと比較した「つや姫」の特性

- 同熟
- 短穂、穂数並、多収
- 品質はやや良
- 病害抵抗性は優る
- 穂発芽性はやや難:実用上支障無
- 炊飯米は外観が優り総合値は並



「つや姫」 「コシヒカリ」

## 現地の収量



## 炊飯米の食味試験結果

表. 「つや姫」の食味官能試験

| 年次                      | 試験場所         | 栽植株数         | 施肥 | 総合       | 外観      | 香り    | 味     | 粘り     | 硬さ      |
|-------------------------|--------------|--------------|----|----------|---------|-------|-------|--------|---------|
| 2011年                   | 日本穀物<br>検定協会 | 坪50株<br>坪70株 | 少肥 | 0.45 †   | 0.45    | 0.20  | 0.40  | 0.35   | -0.20   |
|                         |              |              | 標肥 | 0.50 †   | 0.35    | 0.15  | 0.45  | 0.35   | -0.05   |
|                         | 農業試験場        | 坪70株         | 少肥 | 0.10     | 0.55 ** | -0.20 | -0.05 | -0.15  | -0.20   |
|                         |              |              | 標肥 | 0.25     | 0.80 ** | -0.15 | -0.10 | 0.15   | -0.40 * |
| 2010年<br>2009年<br>2008年 | 農業試験場        | 坪70株         | 多肥 | 0.10     | 0.50 *  | -0.15 | 0.15  | 0.00   | 0.00    |
|                         |              |              | 標肥 | 0.71 *   | 1.12 ** | 0.06  | 0.24  | 0.47   | 0.00    |
|                         |              |              | 標肥 | 0.15     | 0.35    | -0.15 | 0.00  | 0.37 * | -0.50 * |
| 2008年                   | 農業試験場        | 坪70株         | 少肥 | -0.60 ** | -0.15   | -0.15 | -0.35 | -0.05  | 0.15    |

注1)施肥はNkg/10aで少肥:2-2-2、標肥:4-2-2、多肥:6-2-2、穂肥Iは幼穂長1mm時でIIはIの10日後施用(基肥-分けつ肥-穂肥I-穂肥II)。  
 注2)\*\*:1%有意、\*5%有意、†10%有意、未表記は有意差無(t検定)

図. 「つや姫」の現地試験結果 (2011年)

「つや姫」は、品質および食味を安定させるために、5月下旬移植、栽植株数は坪50株(15.1株/m<sup>2</sup>)程度までの疎植が可能で、施肥は窒素量で10a当たり、基肥は4kgを上限とし、穂肥Iは幼穂長10mm時施用が望ましい。収穫適期の出穂後積算気温は、約940~1,106℃である。

### 移植時期

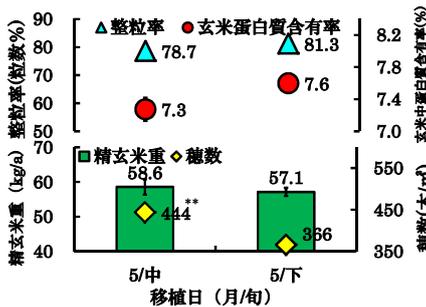
5月下旬移植は、5月中旬移植に比べて、穂数が少なく、玄米中蛋白質含有率は高い傾向であるものの、収量は同等で、整粒率は高い傾向です。

### 基肥窒素量

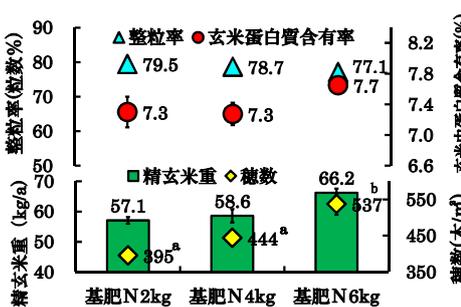
基肥窒素によらず、収量、整粒率および玄米中蛋白質含有率が同等であることから、**基肥窒素量は4kg**が適当です。

### 栽植株数・穂肥I時期

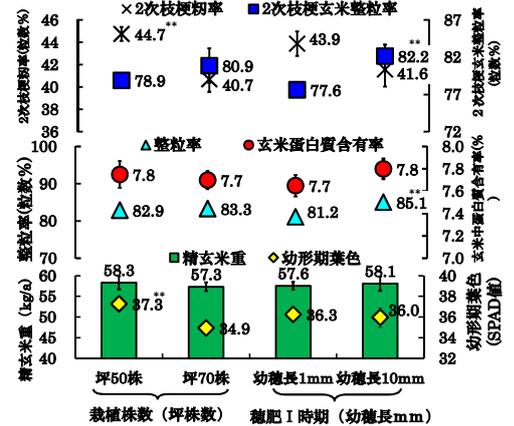
坪50株により幼形期葉色および2次枝梗籾率が高まるが、収量・整粒率・玄米中蛋白質含有率は同等。穂肥I幼穂長10mm時施用により、収量・玄米中蛋白質含有率は同等で、整粒率および2次枝梗玄米整粒率が高くなります。



図「つや姫」の作期反応



図「つや姫」の基肥N量による収量等の相違



図「つや姫」の栽植株数および穂肥I時期による収量等の相違

### 収穫適期

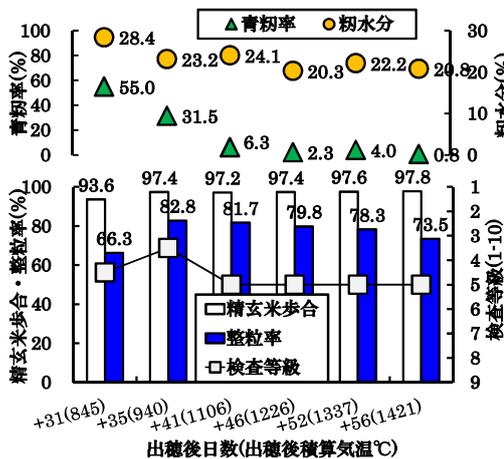
刈取適期は整粒比80%以上の出穂後35~41日で、出穂後積算気温は約940~1,106℃、精玄米歩合は約97%、青籾率は約6~32%、籾水分は約23~24%です。

### 玄米中蛋白質含有率

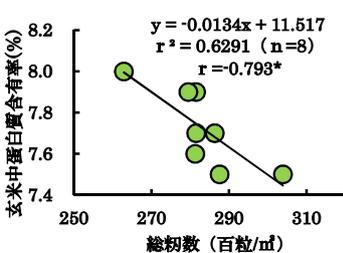
玄米中蛋白質含有率は、籾数増により低下する傾向です。

### 整粒率

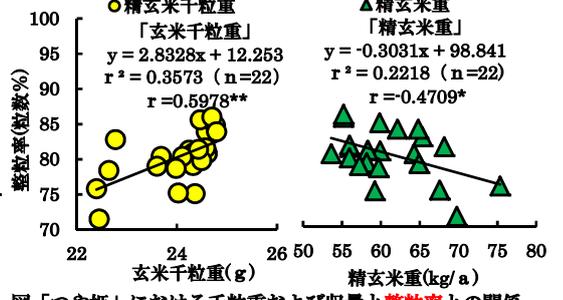
整粒率は、千粒重の増大と収量の低下により向上する傾向です。



図「つや姫」における刈取時期による各要素の推移 (坪50株、穂肥I幼穂長10mm時施用)



図「つや姫」における籾数と玄米中蛋白質含有率との関係



図「つや姫」における千粒重および収量と整粒率との関係

出穂後35日(940℃)

出穂後41日(1,106℃)



図「つや姫」の収穫適期の穂

1. 平成24年産は試験栽培に限る。
2. 平坦地(農業試験場)における、移植時期は5月中旬~5月下旬、栽植密度は16.3~23.9株/m<sup>2</sup>の試験結果である。
3. 食味向上のために、籾数不足にならぬようにし、整粒率は、粒の充実を図り、収量を適度に抑えることにより向上する。

問い合わせ先：鳥取県農業試験場 作物研究室、電話：0857-53-0721

※ 本書から転載複製する場合には必ず上記に許可を受けて下さい。